

環境厚生委員会

植松 健一 委員長コメント

今期、新たに編成されました環境厚生委員会では、これから2年間にわたり調査研究を進めていく政策課題を「プラスチックゴミをはじめとするゴミのリサイクルについて」と決定致しました。

本市では令和6年4月よりプラスチックゴミの分別収集を始めることが決定しております。

分別収集は、リサイクルの入り口であり、今後プラスチックにおいてもリサイクルが加速していくこととなります。そのような中、日々進化しているリサイクル技術やそれに向けた収集分別の方法などを調査し、今後市民生活で発生するプラスチック以外のゴミも含め、できるだけ再資源化を図るために当市として進めて行くべき方を研究してまいります。

また、所管事務調査として、当局の行っているプラスチックゴミの分別収集に向けた、現時点での準備状況、さらに始めるまでのプロセス等の確認を行いました。



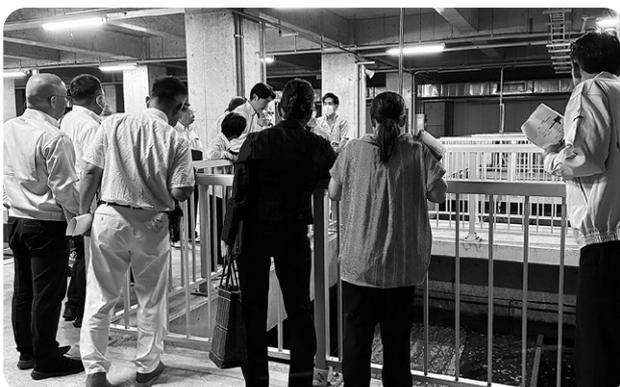
産業都市委員会

村瀬 旬 委員長コメント

今回の政策課題は、「盛土の現状と対応について」と決定しました。

また、6月定例議会での所管事務調査として、下水処理施設と上水道施設の現地調査を行いました。下水処理施設は、現在、衛生プラントと別々に処理を行っていますが、将来、同時処理を行うために試験、調査を行っています。

上水道施設は、日夜、安全でおいしい水道水を市民に供給するため、たゆまない努力の結果であり、蛇口をひねれば簡単に水が飲める工程の詳しい説明を受け、多くの議員にとっても初めての調査、研究でした。説明によると、全国うまい水道水として、富士宮市が全国2位とのことでした。



▲星山浄化センターでの調査



▲北山浄水場での調査